

バンドン通信 (別保小・遠矢小・別保中・美留和小でお世話になった皆様)

2018年5月23日

皆様、お元気でしょうか？

皆様へのお礼や近況報告が遅くなり、大変申し訳なく思っています。

振り返れば、3月29日、私たちのバンドンへの荷物と息子の札幌への荷物を発送し、30日から4月2日まで、息子のアパートに泊まり、大学の入学式に出席したり、息子の国民保険の手続きをしたりしておりました。4月3日に釧路に戻り、4日には住宅の水抜き作業、午後から東京に向かい、5日に文科省で辞令をいただき、その日の深夜便で羽田空港からインドネシアに向かいました。4月12日に着任式と始業式、13日に入学式があり、それまでに住宅の契約や運転手さんやメイドさん、警備員さんの面接を終わらせるなど、結構、ハードな毎日でした。

前任の校長先生の置いて行ってくれた経営方針を自分のものにする作業や先生方、現地スタッフの方々とのコミュニケーションなど、今日まで超特急で動いてきたように思います。

インドネシアはイスラム教を信じている人が世界で一番多い国だそうです。朝、4時ころからコーランの音が町中に響き渡ります。モスクからスピーカーを通して流れてくるのですが、私には時には音の外れた演歌のように聞こえることもあります。これまで2度の日本人学校は南米の国でしたが、今回、初めてアジアで、しかもイスラムの国なので、いろいろなことに興味をもって暮らしています。

先週の木曜日からイスラム教信徒は断食に入りました。日本人学校にも保護者がイスラム教の方がいます。何人かの生徒も断食に入っています。断食といっても、一日中食べないのではなく、日の昇っている間は飲食をしないことになっています。朝食を早く食べ、昼は食べないのですが、水も飲めないことから、脱水症状にならないか心配です。この断食には、我慢することを学ぶこと、貧しくて食べられない人の気持ちを理解することなどが目的としてあるそうです。

断食が一月ほど続き、そのあと日本の正月のようなレバランという断食終了のお祭り騒ぎがあります。日本のニュースでもインドネシアで起きたテロのことが流れていたと思います。断食前後は信教心も高まるそうですが、中にはISの影響を受けた人たちがテロを起こすことがあるようです。もちろん、日本にいる時よりも注意が必要ですが、インドネシア中でテロが起きているわけではありません。私たちの周りのインドネシアの方々はとても親日的で優しさいっぱいに私たちに接してくれています。

学校は小学生11名、中学生5名、それに幼稚園があって、園児も4名います。6月末までには中学生が2名、小学生が1名、幼稚園児も1名増えることになっています。小さな学校ですので、1名の増減が予算などにも影響してきます。私は校長の仕事以外に小3の算数を担当しています。現在は1名、6月から2名の3年生と一緒に算数を勉強していきます。昨年度、遠矢小の武山学級と別保小の川岸学級と一緒に学んだことが生きています。武山先生の「ちょうどの時刻をまたぐ」という表現はそっくりいただきました。楽しみながらやっています。

インドネシアは国際免許の加盟国ではないので、日本で国際免許を取ってきても、車を運

転することはできません。そんなこともあり、派遣教員は全員、運転手を雇って、運転をお願いしています。日本と同じく、車は右ハンドルで左側通行なので、運転できそうに思うかもしれませんが、もし、私が運転すると毎日、車が傷だらけになるように思います。狭い道を上手に車がすれ違っていきます。バイクもとても多く、車の間を縫うように走っていきます。運転手さんの運転テクニックは真似できません。その運転手は基本的には日曜日がお休みなので、買い物は土曜日に行くようにしています。もちろん、平日に妻が運転手の運転で行くこともよくあります。

今年の私のインドネシア生活の目標は「屋台をまわる」です。衛生環境の良さそうで、おいしそうな屋台で少しずつ挑戦を開始しています。どのくらいの頻度でこの通信が書けるかわかりませんが、年に4回くらいは近況を報告したいと思っています。学校のブログも見ていただけるとありがたいです。

<http://bjschool.blog.fc2.com/> です。



大きな民家を借りているバンドン日本人学校



バイクも行きかう日曜の朝市



同居人のヤモリ〜シロアリなどを食べてくれる



日本語スピーチコンテストの審査に行った大学の
日本文化祭〜メイドカフェをやっていました